

平成29年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立児童センター	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	施設分類	子育て支援施設
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成33年3月31日	利用料金制導入	なし(指定管理料のみ)
導入年月日	平成25年6月1日	指定回数	2回
施設設置目的	児童福祉法に基づき、0歳から18歳未満の児童に健全な遊びを通して、その健康を増進し、又は情操を豊かにする。また、相互援助活動を実施する中で、地域の子育て支援の向上を図り、地域活動支援、地域子育て世代の交流の場を提供することを目的とする。		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ふじみ野市立東児童センター ふじみ野市福岡1丁目2番5号フクトピア3階 延床面積1,418㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造り ・ふじみ野市立西児童センター ふじみ野市大井中央1丁目1番1号大井総合支所3階 延床面積987.41㎡ 鉄筋鉄骨コンクリート造り 		
管理運営の基本方針	児童福祉法等の関係法令を遵守し、十分に理解したうえで、利用者のニーズや時代の要請に対応した事業の充実、利用促進に努め、施設の効用を最大限に発揮し、利用者へのサービス向上を図る。また、地域の関係機関や団体と連携協力し、地域の実情を踏まえた施設運営に努め、遊びを与えるだけでなく、子どもと共に遊び、遊びを通じて子どもの生きる力を養う。		
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な遊びの場を通して、児童の集団及び個別的指導を行い、遊具その他の設備の利用により児童の体力増進を図る。 ・児童に関する組織、機関等との連絡に関する業務。 ・自主事業の実施。乳幼児及び児童の健全育成に必要な活動の実施。ファミリー・サポート・センター事業に関する業務。 		

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標値以上の結果で評価できる場合(上記「5」以外)、又は業務等が適切で、期待する水準以上であった場合/3:業務等が適切で目標値に達している場合、又は業務等が期待する水準どおりであった場合/2:実施計画に基づく管理運営や事業の実施が目標値又は期待する水準をやや下回る場合/1:目標値を大きく下回る場合

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の役割や、展開する事業の目的を職員が研修等で理解を深め、創意工夫に基づく効果的な管理運営を図った。 ・公の施設として個人情報の保護や各種法令遵守の徹底、利用者に公平かつ平等の運営、危機管理意識に基づく健全かつ安全な業務執行に努めた。 	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
事業内容の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに合わせて事業内容を企画。実際に参加された方の声などを基に随時より良い事業となるよう検討を行った。 ・年齢層に合わせた日程での実施を心がけ、参加しやすい場の提供を心がけた。 ・人気のある事業(親子タイム・ママの輪・スマイル等)を継続して実施。 ・平成29年度からファミリー・サポート・センター事業の運営も開始し、通常の活動、研修会及び交流会の通じ会員同士の関係を含めた。 	
事業周知の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、毎月のセンターだより、館内ポスター、ブログ(西児童センター)等で利用者へ定期的に事業紹介を行った。その他、広報や子育て情報メール・子育てタウンアプリ等公共の周知方法も利用し、多くの方への情報提供に努めた。 ・市内の子育て支援拠点会議へ積極的に参加。相互に情報提供を行い、連携を取りながらの活動を心掛けた。 ・ファミリー・サポート・センターの提供会員増加に向けて自治会や幼稚園等へのPR活動を実施した。 	
サービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート、子ども運営委員会を定期的に実施した他、通常開館での来館者との会話の中から意見の聞き取りを行い、市民からの意見について、職員間で共通理解し、話し合いを行いながら館内でのサービス向上へつなげた。 ・おもちゃの消毒等を定期的に行い安全に安心して過ごせる居場所づくりに努めた。 ・ファミリー・サポート・センター活動の中ですべての会員を対象に交流会を実施し、会員同士の関係を深めた。 	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
特記事項(問題等があった場合)		3

3 施設の有効活用

施設利用状況	利用区分等	予定(計画・目標) 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
	幼児	42,907 人	38,780 人	91.3%	90.4%	
小学生	54,669 人	49,416 人	92.2%	90.4%		
中学生	7,855 人	8,103 人	105.7%	103.2%		
大人	44,400 人	41,555 人	94.9%	93.6%		
計	149,831 人	137,854 人	93.5%	92.0%		
(特記事項) H29 利用実績 東児童センター 幼児 16,210人 小学生 23,495人 中学生 3,981人 大人 16,942人 計 60,628人 西児童センター 幼児 22,570人 小学生 25,921人 中学生 4,122人 大人 24,613人 計 77,226人 ファミリー・サポート・センター依頼会員1,003人、両方会員100人、提供会員181人 活動実績3,783件						
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由		
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ふじみ野市立児童センター条例第4条に規定する業務 施設の利用許可に関する業務 施設、設備及び物品の維持管理ならびに軽易な修繕に関する業務 埼玉県児童館連絡協議会に関する業務 児童センター運営委員会に関する業務 ファミリー・サポート・センターに関する業務 				
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援拠点事業 親子タイム・ママの輪、スマイル、お話し、育児講座等 小学生対象事業 わくわくタイム、子ども運営委員会、ジャンプ、チャレンジランキング等 中学生対象事業 夜間開館、ボランティアの受け入れ等 特別イベント事業 フクトピアっ子祭り、夏まつり、県民の日お楽しみ会等 					
利用サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ホームページや館内ポスターの掲示、ブログ(西児童センター)や子育てタウンアプリ等を利用したPR活動 定期的な利用者アンケートの実施 施設安全チェックの実施や遊具等の消毒 ファミリー・サポート・センターの会員の交流会(クリスマス会など)で提供会員と依頼会員等の意見交換会を実施し、双方の関係を深めた。 					

3

4 利用者評価

区分	内容	評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法 両センターにおいてアンケートを2回実施(平成29年5月1日～15日/平成29年11月1日～15日)	3
	(2) 調査、会議等の内容 (実施時期)平成29年5月1日～15日/平成29年11月1日～15日 各館2回実施 (調査方法)窓口にて保護者用・児童用各100枚のアンケートを配布 (回収率) 東児童センター:5月・11月実施 保護者・児童共に100%/西児童センター:5月実施 保護者99%児童100%・11月実施 保護者98%児童100% (調査項目)保護者対象:①住所②来館方法③利用頻度④行事情報をどこで得たか⑤利用した感想⑥来館して印象 児童対象 :①住所②性別と年齢③利用頻度④小学生向けの事業の認知度、情報取得方法⑤利用した感想 ⑥参加行事の有無、満足度⑦先生の対応	
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 保護者対象アンケート 東児童センター 市内在住86%、来館方法 自転車32.5%、利用回数 週1～2回 43.3%、 利用した感想 満足・やや満足88.9%、職員への対応 満足・やや満足93.1% 西児童センター 市内在住85.8%、来館方法 車40.3%、利用回数 月1～2回 41.7%、 利用した感想 満足・やや満足89.4%、職員への対応 満足・やや満足94.9% 児童対象アンケート 東児童センター 市内在住85.5%、性別 男27% 女72.5%、利用学年 小学5年生27.8% 小学6年生24.2%、 利用した感想 満足84.5%、先生の対応 満足68% 西児童センター 市内在住88.4%、性別 男 32.8% 女 67.2%、利用学年 中学1年生13.3% 小学6年生30.6%、 利用した感想 満足86.2%、先生の対応 満足69.3%	3
	(1) 良好とする評価 行事で満足度が高い事業 東児童センター 親子タイム、りんりんリズム、ぼんぼんお話し など 西児童センター レッツダンス!、はかってみよう、親子タイム など 利用者からの評価 短い時間に楽しさが詰まっていた大満足。いろいろなことをしてくれて楽しい(親子タイム)、アンパンマン音頭が楽しかった。(りんりんリズム)、大人も楽しかった(ぼんぼんお話し)、子どもと一緒に出来て楽しかった(レッツダンス!)、記録用紙の台紙が良い(はかってみよう)、スタッフが優しく気遣ってくれるので安心して遊べる。子どもの名前だけでなく、好きな遊びも覚えてくれているので子どもが嬉しく感じている。小麦粘土や新聞紙遊び、絵の具、家でやったことがなかった遊びが良かった。保護者同士の交流が出来る。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ①育児講座をもっと増やしてたくさん参加できるようにしてほしい。 ②おむつ交換スペースを増やしてほしい。ミルクのお湯がほしい。お昼を食べられるスペースがほしい。飲食スペースがほしい。 ③親子タイムの人数を増やしてほしい。 ④トイレトレーニングなどの子育て講座が定員なく聞けると良い。 ⑤英語絵本の読み聞かせは人が多くて窮屈に感じる。 ⑥今月のぬりえを持ち帰ることが出来るとう良い。 《対応措置》 ①できる限り参加して頂ける人数が増やせるように考えているが、講座内容や保育人数の上限等に合わせて人数制限させてもらっている。できるだけたくさん参加できるように検討する。 ②館内での飲食・お湯の提供については、床の衛生面やスペースの問題等で実施が難しい状況。 ③親子タイムは利用する部屋のスペースなども考慮しているため、参加人数を増やすことは難しい。 ④育児講座等の参加人数は先生と相談して決めている。できるだけ多くの方に参加してもらるように検討する。 ⑤地域ボランティアの事業になり、毎回大勢の方に好評なので、会場を集会室より広い工作室での実施に変更した。 ⑥出来上がった作品を持ち帰りたいと言う意見から1月から希望の方は持ち帰り出来るようにした。	

5 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(平成29年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		平成29年度決算		平成28年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
事業収支 (単位:円)	収入	利用料金		利用料金		施設使用料		施設使用料		3	
		指定管理料	61,500,000	指定管理料	61,500,000	行政財産使用料		行政財産使用料			
		自主事業※	538,000	自主事業※	83,508	国庫支出金	1,142,000	国庫支出金			
		雑入	10,000	雑入	0	県支出金	1,142,000	県支出金			
		計	62,048,000	計	61,583,508	その他		その他			
	事業収支 (単位:円)	支出	人件費	48,622,000	人件費	50,031,033	施設修繕	0	施設修繕		540,000
			消耗品費	2,000,000	消耗品費	1,950,813	指定管理料	61,500,000	指定管理料		57,531,000
			光熱水費	3,722,000	光熱水費	3,466,352	業務委託料	0	業務委託料		113,400
			委託料	50,000	委託料	49,248					
			賃借料	900,000	賃借料	872,618					
			通信費	219,000	通信費	392,748					
			保険料	1,239,000	保険料	1,239,221					
			修繕費	600,000	修繕費	133,164					
			事業費(市指定事業)	873,000	事業費(市指定事業)	635,229					
			事業費(自主事業)	538,000	事業費(自主事業)	315,302					
公租公課			10,000	公租公課	10,000						
現場管理費			0	現場管理費	0						
一般管理費(本社経費等)			3,075,000	一般管理費(本社経費等)	2,797,104						
減価償却費			200,000	減価償却費	213,408						
その他			0	その他	0						
計	62,048,000	計	62,106,240	計	61,500,000	計	58,184,400				
損益	0		△ 522,732	差引	△ 59,216,000		△ 58,184,400				
自主事業※	収入	538,000	収入	83,508							
	支出	538,000	支出	315,302							
	自主事業損益	0	自主事業損益	△ 231,794							
人件費比率【人件費/指定管理者事業支出】 80.6%											
事業収支における経営分析				自主事業について、多くの方の参加を促すため、参加費を安く設定したことにより、マイナス決算となった。今後は、収入支出のバランスを考えた自主事業計画の検討を必要とする。また、人件費が増加したことにより、一般管理費を圧迫する形となってしまった。それ以外について、引き続き計画額と実績額がかい離しないような運営を期待する。							
一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由				年度途中の退職希望職員の有給消化、また退職に伴う補充職員を雇用せざるをえなくなり、人件費の増加が一般管理費を圧迫する結果となり、当初計画よりマイナスの決算となってしまった。							
※自主事業は該当箇所のみ記載すること											

6 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価	
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	3	
	配置実績			各施設責任者となる所長1人と副所長2人を配置し、その中から2人を常駐することとし、その他に職員を4名配置している。更に東児童センターについては、ファミリー・サポート・センター職員を2名常駐させている。繁忙期については、人の増員も図っている。
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	3	
	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	適	3	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	適	3	
	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
その他	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	適	3	
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか			

7 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

評価項目		評価	総合評価	子育て支援施設
総合評価	施設の設置目的の達成	3	C	<p>施設の設置目的の達成</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>0</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p>
	指定管理者の健全性	3		
	施設の有効活用	3		
	利用者評価	3		
	事業収支	3		
	管理運営全般	3		
	危機管理体制	3		
	評価理由	<p>・利用者アンケートにより、利用した感想が87.2%の利用者が満足・やや満足したと答えている。職員の対応については、94.7%の人が満足・やや満足と答えており、児童センター事業を多くの方が楽しんでもらっていることがわかる。</p> <p>・来館者同士も積極的に交流が持てるよう事業を展開し、また、更なる利用者増へ年齢別に参加できる事業などアンケートにより事業を計画し、取り組むことができた。</p> <p>・父親向け事業を定期的に開催し、父親と子どもで安心して過ごせる場所としてPRをし、活動を行ったことで、徐々に父親の利用が増えている。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターの運営も加わった初年度にもかかわらず、新たに会員同士の交流会などを行いながら、双方の関係を深めることができた。</p>		
取組・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項	
	<p>・アンケート調査等利用者のニーズを的確に捉えて、更に充実した事業・自主事業の実施に努める。</p> <p>・利用者の増員をはかり、より安全で安心して利用できる施設を目指す。</p>	<p>・アンケートを定期的実施した他、通常開館での来館者との会話の中から意見を聴き、意見を職員間で共通理解を深めるために、話し合いを行い、館内でのサービス向上へ繋げていた。</p> <p>・毎月避難訓練を実施すると共に、「普通救命救急講習Ⅰ」「エビベン研修」等へも全員参加し、知識を高め利用者の安全確保に努めた。</p>	<p>・年2回の利用者アンケートの継続実施と子ども運営委員会での意見、ご要望、気付きなど利用者のニーズを的確に捉え、地域の子も達や子育て世代の居場所・交流の場としてのあり方を認識し安心安全な施設運営に努める。</p> <p>・事業参加対象枠の拡大など充実した事業実施を目指しながら地域の居場所となるよう一層の定着を図っていく。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターの提供会員の増加を目指してPR活動を実施する。</p>	

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

①サービス向上に向けての取組

- ・0歳～18歳の子ども達と保護者全ての来館者が居心地良く過ごせるように、館内の安全管理に努め職員の挨拶声かけを徹底して実施。来館者と職員という関係だけではなく、来館者同士も積極的に交流が持てるよう事業を展開。共存共栄できる施設を目指し更なる利用者増へとつながっていくように職員一同努力を重ねた。
- ・利用者アンケートや子ども運営委員会での意見や拠点などでの普段の会話から、利用者のニーズを把握し、出来る限り反映していくよう努力している。
- ・利用する年齢によって参加できる事業をニーズに合わせて計画。それらが一目で分かるよう館内掲示を定期的に変更している。
- ・毎月発行するセンターだよりだけでなく、子育て支援事業についての案内を作成。利用者の方が自由に持ち帰ることが出来るよう配置している。他の拠点施設にもセンターだよりや子育て支援事業についての案内を置いてもらい、施設同士で連携をとれるようにしている。
- ・両センターのセンターだよりや定期的なホームページの更新の他、センターの様子を紹介するブログを毎日更新し、周知を図っている。
- ・季節ごとのイベントを増加。「母の日」「父の日」「ハロウィン」など様々な年代の利用者が一緒に楽しめるイベントを展開した。
- ・父親向け事業を定期的開催。父親と子どもで安心して過ごせる場所として定期的に利用する方も多くなっている。保健センター事業「パパママセミナー」へ協力。セミナー参加の妊婦と配偶者のセンター見学を実施し、出産後の利用へと繋がっている。

②業務の効率化に対する取組

- ・各業務に担当職員を設け、各自が自分の担当を確実に行うことで、効率化を図った。また、職員同士積極的にアドバイスを言い、相互に高め合えるよう努力した。さらに企画、準備、周知、実施、反省、他職員への報告までを担当が中心となって責任を持って実施することで、効率化を図った。
- ・毎朝、運営開始前に朝礼を行い、連絡事項や体制を出勤職員全員で共通理解できるように努めている。
- ・事務連絡ノートと回覧ボックスを設け、各職員が休み明け等に必ず目を通し捺印やサインを行うことで、確実な情報共有を行い、業務への効率化を図っている。
- ・事務所や倉庫等の整理整頓を各自が心掛け、業務がスムーズに進むよう心掛けている。
- ・事業の計画と並行し購入品等の書き出しを実施。作業内容だけでなく必要なものを視覚でとらえることで、兼用できるものが明確となり経済面の節約も行う事が出来た。
- ・窓口での貸し出し、館内での見守りなど、時間を決めたローテーションを行うことで一つの仕事に集中し、責任を持ち進められるようにしている。混雑状況に応じ、適宜判断し館内の安全第一で動けるよう各自が優先順位を考え、仕事を進めている。

③その他

- ・積極的に児童厚生員研修や、児童館職員研修などに参加し専門的な知識を習得した。
- ・ファミリー・サポート・センターについて「子育て支援員研修(ファミサポコース)」へ参加し、知識を深めた。
- ・発達支援サポーター研修や「全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー」等へ積極的に参加し、子どもにも携わる職員としての知識を深めた。
- ・安全な運営のために全職員が「普通救命救急Ⅰ」「エビベン研修」に参加。様々な想定で毎月避難訓練を実施。緊急時に備えている。
- ・毎朝開館前に「施設安全チェックシート」「フクトピア消防設備等自主点検表(東児童センター)」「自主検査チェック表(西児童センター)」を利用し、安全チェックを実施している。
- ・「ふじみ野市子育て支援拠点連絡会議」へ継続参加。市内の子育て支援拠点と連携し、より一層の支援充実に努めている。
- ・「出前子育てサロン」へ29年度も継続参加。センターとして体操や大型絵本の読み聞かせなども実施。子育て支援センターや保健センターとの連携も密にしている。
- ・フクトピア館内合同「自衛消防訓練」へ年2回参加。その他にも交流プラザ等との連絡を日頃から心がけ、安全対策等の連携を図っている。
- ・大井総合支所の支所長会議に毎月必ず参加し情報の共有に努めている。支所合同避難訓練に2回参加。安全対策等についても連携を図っている。
- ・埼玉県児童館連絡協議会の理事となり定期的に役員会に参加している。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・来館者が安全に安心して利用できる児童センターとして、事故やケガがおきないように職員間で共通意識を持ち、見守りや利用者への促し等を行っているが、口数件の怪我が起きてしまった。幸い大事には至らなかったが全職員が事故やケガの原因を確認し再発しないよう環境整備を行った。□
- ・駐車場の数が足りず、事業参加予定の保護者が遅れてしまう等の声が多数上がっている。駐車場に限りがあるという注意喚起は実施。今後の課題である。
- ・築年数の経過により、各部屋絨毯・壁紙などの老朽化がみられる。優先順位を考慮して修繕の予定を立て、実施していく。

(3) 次年度以降の取組

- ・【東児童センター】平成29年度は利用者数60,628人。月平均5,052人。平成30年度は月平均5,100人、利用者数61,200人を目標とする。
- ・【西児童センター】平成29年度は利用者数77,226人。月平均6,436人。平成30年度は月平均6,530人、利用者数78,360人を目標とする。
- ・年2回の利用者アンケートを継続実施し、利用者のニーズを把握し、地域の子ども達や子育て世代の居場所・交流の場として、より一層の定着を図っていく。
- ・安全なセンター運営のために、全職員が「気を付けて！」「大丈夫？」という気持ちを持ち、来館者の方に接していくことができるよう日々意識を高めていく。
- ・何かあった時にはすぐに報告を行い、児童センターだけではなく市役所・会社とも連携を取り合い、より良い児童センターとなるよう心掛けていく。